

## 駅無人化反対・ローカル線廃止反対・津山宣伝行動

# JRは、公共交通を守る社会的責務がある

## 駅窓口の変更はサービスの低下

地本は2月23日、「駅無人化反対・ローカル線廃止反対・津山宣伝行動」を行いました。津山市街地にて、街宣・チラシ配布行動を行い、最後に津山駅前においてマイク宣伝を行いました。「退職者の会」などが参加してくれました。参加人数は25名です。



地本は、11時より、津山市街地において、チラシ配布・街宣行動を行い、13時より津山駅前において、津山駅で「駅無人化反対・ローカル線廃止反対」のマイク宣伝行動を開催した。

青山地本書記長の司会で、小林地本委員長が津山市民・通行者・JR利用者に対して、「津山駅の窓口閉鎖反



対」「ローカル線を守ろう」「24春闘を勝利しよう」とマイク宣伝を行った。

### 小林地本委員長 駅の窓口閉鎖

津山駅の「みどりの窓口」を閉鎖して、切符の販売はすべて機械化します。使い勝手の悪さや待ち時間の長さから不満が続出しています。

私たちは、こうした駅体制の変更に対して、「サービスや安全」を軽視するものであるとして、反対の声を上げています。特に困るのは交通弱者です。そして、身体障害者や高齢者などにとっては移動の自由が大きく制約されます。そして、安全性の低下します。駅の無人化・運転短縮に反対しましょう。

### ローカル線問題

地域の足であるローカル線をめぐる動きは、今まさに大きな節目を迎えています。国主導で存廃を含めた公共交通のあり方を議論する芸備線の「再構築協議会」が開催されます。JR西日本は、黒字路線の収入でカバーする「内部補助」では対応出来なくなつた」と言っ



ていますが、果たして本当に「内部補助」は崩壊したのでしょうか。

国鉄の「分割・民営」化によって国民の財産であった鉄道を引き継いだJRには、公共交通を守るといふ社会的責務があります。赤字だから、ローカル線を廃止とするならば、分割民営化そのものが問われています。今回は芸備線ですが、ゆくゆくは姫新線などのローカル線が同じ道をたどる危険があります。

一度失われた鉄路は復活させることはほぼ不可能です。地域の足・ローカル線を守っていきましょう。

### 24春闘

今年の春闘は、物価高騰に抗する春闘です。物価高に対して賃金は上がって

るのでしようか。国民の生活はギリギリの状況に追い詰められ、一方で企業の持つ内部留保は、11年連続で過去最高を更新しています。

私たちは、賃上げの風を巻き起こす春闘にしていきたいため奮闘していきます。

私たちは、今後も「駅の窓口閉鎖。ローカル線を切り捨てるな・芸備線などローカル線を守ろう。24春闘勝利」そうした声を引き続き、粘り強く声を上げていくことを確認して、マイク宣伝を終了した。

## 駅無人化反対宣伝行動

日程 2024年3月28日(木)  
時間 地本9時集合  
行動 新見駅周辺での宣伝活動